

「山の日」制定記念山行

やまかど 「山門水源の森」自然探勝ハイク

と き 2016年8月11日(木) 山の日

メンバー 7名(男3人、女4人)

アクセス 往路: JR大阪駅7:45発新快速→近江塩津駅9:31着→山門水源の森入口(タクシー2台、@1650円)

復路: 山門水源の森入口(永原駅の「おでかけワゴン」利用。一人@200円)→永原駅→JR大阪駅

JRは青春18切符利用(一人@2370円) 今回、一人当たり参加費3050円

天 候 晴れ時々曇り

*****コースタイム *****

山門水源の森入口9:05発→森の学舎10:15発→山門湿原10:40着→南分岐11:05→ブナ林11:25→守護岩(コース最高点)11:40着、昼食→日本海の見える場所往復、最高点発12:25→サメ岩12:40→アカガシ群落13:05→天然更新試験地13:25→森の学舎13:45着→山門水源の森入口14:10発→永原駅

【活動報告】

今年からスタートした山の日制定を記念する山行として実施した。山と山の自然の営みに感謝し、自然に学び、自然を大切にしていこうという思いで参加した。

山門水源の森はゴルフ場建設など自然破壊の危機にあったが、自然保護の運動の中で、滋賀県が公有地化して保全されて、更に元の姿に復元する活動が現在も続けられている。

高層湿原は保全のために関係者以外は立ち入れないが、入口にある森の学舎にある付属湿地(ビオトープ)には湿生植物の白く美しいサギソウがたくさん咲いていて、参加メンバーは大喜びであった。コースにはブナ林とアカガシ林のように寒地性と暖地性の植物が同居する珍しい植生を有しており、きめ細かい解説版のおかげで随分勉強になった。全体に優しい登山コースであり、自然探勝ハイクとしてお勧めのコースである。



1. 山門水源の森入口の駐車場



2. やまかど・森の学舎



3. 付属湿原(ビオトープ)



4. 木道の上から湿原を観察



5. 綺麗なサギソウがたくさん咲いていた



6. イモリもいた。オタマジャクシも・・・
いろんな生き物がたくさんいる



7. 綺麗なバイオトレ



8. 登りはじめは、ヒノキの人工林だが、
木材チップが敷いてあって足に優しい



9. 少し行くと涼しい沢コースとなる。



10. 滑らないようにゆっくり歩く。



11. 山門湿原に到着



12. 随所にある説明表示板



13. 高層湿原をトラバース道から眺める。
近寄れないが、サギソウがたくさん咲いていた。



14. 落葉広葉樹林を登るが、風があつて涼しかった。



15. ヒノキの人工林の説明表示板。



16. ブナ林に入ってからあつたブナの説明表示板を眺める。



17. コース最高点で昼食の後、枯れ木の伐採作業をしていたボランティアさんが日本海が見える場所へと案内してくれた。



18. ナント、敦賀湾が見えるではないか。ボランティアさんのおかげで素晴らしい眺望を見ることができた。



19. 昼食を摂ったコース最高点で、全員集合でパチリ。



20. シカによるササなどへの食害を防ぐために、シカよけネットが張られてあった。



21. シカによる食害でササが枯れていた。



22. サメ岩 (別名ジョーズ岩)



23. アカガシ林の下り



24. アカガシ林の説明表示板



25. 植生の天然更新試験地を通過する



26. 出発地点の森の学舎に到着



27. 生き物たちをしばし観察。そして、スマホでパチリ。



28. 出発時に咲いていなかったヒツジグサの花が咲きだしていた。



29. ヒツジグサの花はこんなんです。



30. シラサギが羽を広げたようなサギソウがたくさん咲いていましたよ。



31. 入口の駐車場に向けて出発



32. 駐車場で「おでかけワゴン」を待つ間、旧西浅井町の案内板をしばし眺める。そして、迎えるワゴン車で帰路についたのでした。